

## 百八の煩惱を消す除夜の鐘

年最後の月末(十二月三十一日)を大晦日と  
いって、寺院では除夜の鐘をつきます。  
除夜とは古い年が押しつけられる夜のこと  
で、大晦日の晩である。

除夜の鐘は煩惱を解脱し、罪業の消滅を  
祈って百八回つくるとされ、中国では宗の時代  
に始まり、日本では室町時代から大晦日につ  
くようになった。

寿楽院でも、参詣する方に一回ずつ鐘を打  
ち鳴らしてもらっています。

百七つ目の鐘は、行く年の最後に鳴らして  
煩惱が去ったことを宣告し、百八つ目の鐘は、  
来る年の最初について、新たな年を迎えるに  
当たって、眠りをさますといわれています。

たき火をして暖をとる、甘酒をよういして  
います。お参り下さい。



大晦日午後十一時半頃から撞きはじめます

## 大晦日に灯す常夜灯



### 一口法話

人は我があると思っか  
ら、わがものに執着する。

## 空海の言葉 シリーズ

げほう  
解宝の人は磁石を宝と見る

うじやくへ  
優れた山師は、一見  
なんでもない石ころからも宝を見つける

足許に転がっている一個の石を見て、それがダイヤ  
モンドの原石か、ただの石ころかを見分ける目をもち  
なさい  
「その優れた山師たちの目のように、『般若心経』  
から深い意味を発見しなさい!」と、弘法さんは、い  
われているのです。

「空海のごまよひ」

